

おおとり会だより

同窓会発足六十周年 記念事業に向けて

おおとり会 会長

大石 邦枝



昨年三月の東日本大震災は、多くの有識者から想定外と言われるほど本当に大きな災害でした。犠牲になられた多くのの方々に対し心より哀悼の意を捧げます。また被害をうけられた方々、現在も尚不便な生活を送っておられる皆様に心よりお見舞い申し上げます。すべての人々が一日も早く以前の生活に戻れますよう願っています。

被災地ではまだまだボランティアの手を必要としているようです。皆で支えあつて行けたらいいですね。

東海地震、浜岡原発と、静岡県も大きな爆弾を抱えています。いつ何時その爆弾が破裂するのかわかりません。災害に対する備えも今回のことを教訓に綿密に進められているようですが、これで十分というのではないようです。石巻市の一小学校のようにそれぞれが災害に対して十分な知識を持ち、それを実行にうつすということも非常に大切なことだと思います。

さて、私たちの同窓会「静岡女子短期大学同窓会おおとり会」は短期大学一回路が卒業

した昭和二十八年三月に設立されました。当時は北安東の城北高校と同じ校舎でした。短期大学は十六回生までで、その後四年制の静岡女子大学となり二十回生まで続きましたが今は男女共学の静岡県立大学となりました。静岡女子大学一回路の卒業と同時に名称も「静岡女子短期大学・静岡女子大学同窓会とおとり会」と変更しました。

このおおとり会が二〇一三年に六十周年を迎えます。そこで会では、六十周年記念事業をするべく実行委員会を組織することとしました。今は準備段階ですが、本部役員八名に各科の理事および当番幹事から各一名づつ、合計十六名があたります。

静岡駅近くのホテルで楽しい一日を過ごしていただけのような考えております。人の絆の大切なことは今度の災害で学んだことですが、同窓会の絆も深めていけたらと、多くの皆様に参加してくださることを願っています。

秋の叙勲おめでとうございます

瑞宝中綬章を受章



廣部雅昭元学長が、秋の叙勲を受章されました。廣部名誉教授は、一九九九年（平成十一年）に、静岡県立大学の第三代学

長に就任され、六年間勤められました。この間、大学院看護学研究科や薬学研究科医療薬学専攻を新設するなど、組織の充実に御尽力されました。又、静岡県公安委員会委員長なども歴任されました。現在は、東京大学名誉教授、静岡県立大学名誉教授をされております。

はばたき寄金

平成二十三年度「おおとり会賞」は、左記の一団体が選出され、平成二十三年四月二十日に行われた開学記念行事において、木苗学長から表彰されました。

「男子サッカー部」

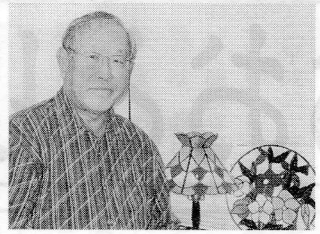
二年前には部員数の減少で、試合参加すら困難だった状況から、地道な活動の結果、各試合で顕著な成績をおさめました。

①第9回静岡学生サッカートーナメント優勝
②第25回静岡学生サッカー選手権大会準優勝
③第9回東海大学サッカーチャレンジリーグ静岡県大会 準優勝。
又、学内の行事にも積極的に参加し、大学の活性化に寄与しています。



平成二十三年度予算で、引き続き十年分「はばたき基金」を事業費に計上、承認されました。

恩師の近況



ステンンドグラスとドイツ哲学

元一般教養教授

金井 壽 男

おひとり会の皆様こんにちは。私のことはあまり皆様の記憶には留まっていないと思うので、はじめに自己紹介をしておきます。

私は昭和四八年に静岡女子大学に採用され、一般教育の「哲学」と「倫理学」、文学部共通科目の「論理学」を担当しました。

授業では学生さんと親しく接する機会は少なかつたのですが、バレーボール部やテニス部の学生さんとはよく一緒に練習したので、それが女子大の楽しい思い出となっています。

昭和六二年静岡県立大学が設立されたときに、国際関係学部教養科に移行し、後に国際言語文化学科内に「ヨーロッパ文化コース」ができたときに、そこに所属して「ヨーロッパ思想」や「西洋古典語学」（ギリシア語とラテン語）などを担当しました。

平成一六年三月に県立大学を定年退職しましたが、平成二〇年四月に和歌山市にある和歌山信愛女子短期大学の学長に任命されて和歌山に赴任しました。今日の短期大学、とくに私立の短大の置かれている状況は大変厳しいもので、予想以上の苦勞を強いられましたが、何とか好転させて任期を終了し、昨年四月富士市の自宅に戻ってきました。

以後すべての勤務から解放されて自由の身になったのですが、まず初めには、和歌山での仕事の整理と記念のため『富士の国から紀の国へ』和歌山女子短期大学在職

中の式辞・講演・講話集」という文集を全くの手造りで作り、親しい友人や先輩に送付しました。

同時に、従来からの念願であったステンンドグラスの制作に挑戦しました。幸いにステンンドグラス作家である友人が清水区の駒越で教室をひらいているので、そこに入門しました。ステンンドグラスの制作には、美的感覚と手先の器用さと根気が不可欠のようで、私にはいずれも不足していますが、目下精力的に修練を重ねているところです。

他方、「ボケ」を防止するためということで、他の友人の発案によってドイツ語の哲学書 (Vaininger: Die Philosophie Des Als Ob, 1913) の読書会を始めました。私はしばらくドイツ語には遠ざかっていたので、多少不安がありました。若し時ドイツ語修得に苦勞させられたのが幸いか、辞書を片手に何とかついていけるので、意外に楽しい時間を過ごしています。

というわけで、目下ステンンドグラスとドイツ哲学を主力に、それにテニスと家庭菜園も付け加わって結構多忙な明け暮れしているというのが私の近況です。ただ、このような生活をいつまで続けられるのかは、神のみぞ知るところです。

平成23年度 総会案内の返信欄より

総会案内の返信欄にお寄せ下さった恩師の先生方のご近況を一部割愛して紹介させて頂きます。

畑 光夫先生：82才になり、毎日一時間の散歩と聖書原典を読むことを楽しんでます。

長塩静子先生：静岡の景観がいつまでも美しくありますようにと、心から願ひ祈ります。

有泉宇宙先生：晴歩雨読の日常です。

藤田純男先生：車椅子は卒業しましたが、杖だけの補助では遠出の歩行は無理なので、近辺の散歩で我慢して居ります。

(平成二十四年三月二日 逝去)

東日本大震災支援コンサートへの援助

日本中が大きな悲しみと不安に襲われた東日本大震災から一年余りたちました。原発事故により、福島市に避難している幼稚園児たちは放射能不安のため外で遊べない状態であると聞きました。

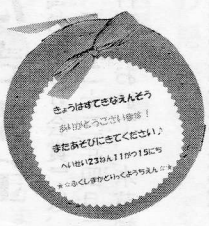
不自由な生活を強いられ体力の低下と共にストレスが溜まりに溜まった子供たちの心を癒してあげられる何か良い方法はないかと、福島市の幼稚園協会より以前からご縁のあった静岡市クラシック協会代表の稲木良光氏に要請がありました。そこでコントラバス奏者、稲木良光氏を中心にした「びっくりコントラバスコンサート」なる公演をして園児たちの心を少しでも癒してあげることが出来ればと企画をなさり、おひとり会にも支援の依頼がありました。理事会ではからせて頂き、大きなことはできませんが十万円程の支援をさせて頂くことに致しました。

ボランティア活動に直接参加できなくてもできることは沢山あると思います。被災された方々の苦しみは計り知ることはできませんが、観光で協力したり、触れ合いの中で心を寄せお話しに耳を傾けたりと、自分の出来る範囲で応援を続けていくことが大切だと思います。人は一人では生きていけないこと、多くの人とのお会いにより助け合うからこそ生きていける、この言葉を今だからこそ強く感じます。 副会長 竹澤好美



感謝状

おひとり会様
東日本大震災支援コンサートへの援助
誠にありがとうございました。被災された方々の心を癒してあげられる何か良い方法はないかと、福島市の幼稚園協会より以前からご縁のあった静岡市クラシック協会代表の稲木良光氏に要請がありました。そこでコントラバス奏者、稲木良光氏を中心にした「びっくりコントラバスコンサート」なる公演をして園児たちの心を少しでも癒してあげることが出来ればと企画をなさり、おひとり会にも支援の依頼がありました。理事会ではからせて頂き、大きなことはできませんが十万円程の支援をさせて頂くことに致しました。



子供達手作りのメダル

還暦を迎えて

国文学科 (大学四回卒)

増田千鶴子

昭和も遠くなりましたが、私の青春は昭和の中にあります。入学した四十五年は、大阪万博・三島由紀夫の割腹自殺など、何やら騒々しく終わり、その後オイルショックなどがありました。四十九年卒業まで、のんびりと楽しく過ごしました。自宅通学でしたので、草薙駅から茶畑に囲まれた道を、左手に富士を眺めながら、谷田の丘まで通いました。

卒業後、県立高校の教員として、浜松東高に赴任し、初めて一人暮らしをしました。三年後地元に戻り結婚し、島田商業高勤務時に二人の息子を出産しました。その後、島田・榛原(母校)・島田工業・藤枝西高と勤務し、定年の二年前に退職しました。三十六年という年月は、

恩師と席を並べる気恥ずかしき、同級生の子供の担任となった責任感、教え子が同僚となった喜び、果ては親子二代を教えるという長さでした。しかし、あつという間だったという気持ちです。

私生活では、息子たちが結婚して居を構え親となり、義母が亡くなり、夫婦二人になりました。そこで、奈良大学文化財歴史学科三年に編入しました。こちらもあつという間に卒論提出の時期を迎え、つい最近提出しました。今は合格を祈るのみです。二月に最後のスクーリングに出席して、本日の停年生活に入ります。健康に留意して、今後もやりました

いことをや
つていき
いと思っ
ています。



科学的な目を養う

食物学科 (大学五回卒)

出口恵子



行政の相談窓口で消費生活専門相談員の仕事を始めて22年になる。豊田商事事件(金のペーパー商法)が話題になった頃に消費者保護関連法に出逢い、消費者問題を学び始めた。相談窓口には、世相を反映した相談が寄せられてくる。うまい儲け話、老後や健康の不安を餌にした商法心をくすぐるようなダイエット食品など消費者心理をうまく掴んだ誘いばかりだ。

相談者の言葉に耳を傾けながら、被害を防ぐには何が大切だろうか考える。情報化社会の中では、消費者が求めなくても数多くの広告が目や耳から飛び込んでくる。本当に自分に必要

な情報を見極め、正しく理解するためには「科学的な目」が求められるのではないだろうか。学生時代に諸先生方から科学的な物の見方の一端をご教示戴いたことが、情報を読み解く原動力になっている気がする。

「安全安心な社会」の構築には、一人ひとりがその役割を果たしながら、地域や社会全体でお互いを見守ることが大切だ。これは私たちの「からだ」の仕組みに似ている。単一の栄養素では健康を保つことができず、多くの栄養素やミネラルが相互に作用し、補い合つての健康だ。

今後も新しい商品やサービスが次々と生まれてくるだろう。もうしばらくの間、情報や知識の積み上げを心からだの糧にしなが、消費者問題への啓発に取り組んでいきたい。

ありがとうの毎日

被服学科 (大学十二回卒)

神谷恭子

私は女子大を卒業して家庭科の教員として勤め、十年程前に家庭の事情で退職しました。その後は非常勤で小中高の家庭科をお手伝いしています。

自由な時間が増えた事をきっかけに色々な事にチャレンジしました。絵手紙をはじめ、ボランティアに参加して沢山の方と共に浜名湖花博や国体などを盛り上げる事が出来たと思います。

また、中学時代の同級生と健康運動を始めました。上級食育指導士という資格を取り、仲間達と健康に関わる学習会や料理会をしています。今後も若いお母さん達や子ども達との活動を続

けたいと考えています。

この十年余りは、大学時代の友達との旅行が毎年恒例の行事になっています。私には旅行の立案や手配をするところからが楽しみで、毎回何かハプニングがあるの珍道中ですが、和気藹々と各地を訪れることが元気の源になっています。私が日頃楽しく仲間達とこうして交流出来るのは、健康で家族や仲間の支えがあつてこそだと思ひます。本当に良き理解者に恵まれたと感謝しています。

誰でも悩みはありますが、与えられた環境に感謝していれば前向きになり、いかに幸せであるかを実感できるのではないかと思います。感謝の毎日です。



みなさん お元気ですか

豊後富士に立って

英文学科 (短大十一回卒)

栗田 睦

古希を前に登山靴を求め、長野や富士五湖周辺の山に登り始めました。私にとって登山の思い出は、短大の二年間、中野先生、榛葉先生に連れて行つて戴いた戸隠山、西穂高、白根山にあります。それ以来、登山靴をはいた記憶はありません。

今年十一月、由布院に泊まり由布岳に挑戦しました。登山口からの標高差は八〇〇米。到着した宿から見える由布岳は豊後富士と呼ばれるにふさわしく、その姿は秀麗でした。「無理だ。その下に見える山にしよう」と半ば、あきらめの気持で翌朝を迎えました。

由布登山口に立つと目の前に由布岳がそびえたつています。しばらく牧野を歩くと頭上に覆

いかぶさるようなカエデ、ミズナラ。枯れ葉を踏んで踏んで一時間、そしてジグザグ道を一時間四十分。急な山道も思つたより快適でした。快適の理由は時々由布院盆地が、パッと臨める事にもありました。ジグザグの後には、急坂。大岩に挟まれながらよじ登る。これも快感。後続者に落石しないよう少々気遣う。由布岳一五八六米に立った。眺望抜群。二十才の時なら二時間余りで登れたであろう山が六十九才の今、三時間十五分を要しました。それでも、それでも……、榛葉先生く!! 天空の中野先生く!!

由布岳頂上に立ちましたよ!!
心も足もく
あの時と同じでし
たよ!!



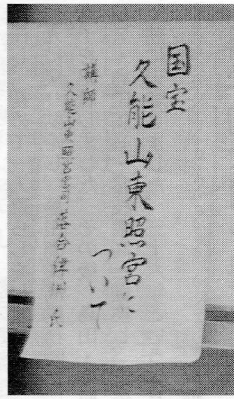
頂上にて (前列左が私)

総会報告

「平成二十三年度おとり会総会」が平成二十三年六月十二日、静岡県立大学小講堂において開催されました。

当日は、前日の雨も上がり緑美しい谷田の丘に、来賓の先生方はじめ同窓生、総勢百余名が集い、旧交を温めることが出来ました。総会に先立ち、去る三月十一日の東日本に於ける大震災で、犠牲になられた多くの方々に、黙祷を捧げ、開会致しました。

第一部総会では、来賓を代表し県立大学学長の木苗直秀先生に、大学の近況などお話を頂きました。又おとり会への温かなご支援の言葉も頂きました。



第二部イベントでは、前年国宝に指定された久能山東照宮の落合偉洲宮司をお迎えし、



「国宝久能山東照宮について」と題し、ご講話を頂きました。国宝に指定されるまでの苦勞話など、貴重なお話を伺うことが出来ました。江戸時代から四〇〇年余、脈々と伝わって来た久能山東照宮の歴史文化の重みを、改めて感じさせられました。国宝久能山東照宮は我々郷土の誇りです。その思いを一層強

くしたご講話でした。来賓の先生方を囲んでの懇親会も、和やかに大変楽しい会となりました。

平成二十五年は、同窓会発足六十周年の記念総会を、静岡駅近くのホテルで行う予定です。一人でも多くの同窓生のご参加を願っています。皆で総会を盛り上げていきましょう。皆様にお会い出来るのを楽しみにいたしております。

当番幹事

食物学科(短大十一回卒) 義家文字

剣祭・バザーから

平成二十三年十月三十日、曇天の空の下、県立大学で剣祭が行われました。前年は台風のため不参加でしたので、二年振りの参加でした。名物のおでん、タイカレーをはじめ、会員手作りの鶏の空揚げ、ちらし寿司、炊き込み御飯、いなりずし、各種ジャム、マドレーヌ、大学芋、甘酒等の食品や手作り小物が所狭しと並べられ、開店早々大賑わいで午後一時には完売となりました。今年は千代紙でコマを作るコーナーもあり、子供達に好評でした。御協力下さいました皆様にお礼申し上げます。

剣祭バザー

収益金

八四、五六〇円

同窓会費に入金させて頂きます。



おとり会
6月3日 曜日

平成22年度 決算報告書

総収入 13,162,330円 総支出 724,804円 残高 12,437,526円(繰越金)

自平成22年4月1日
至平成23年3月31日

収入の部				支出の部					
費目	予算額円	決算額円	増減	備考	費目	予算額円	決算額円	増減	備考
受け取り利息	20,000	263,922	▲243,922	定期郵貯・通常郵貯・公社債	事業費	200,000	122,251	▲87,749	総会88,796 剣祭14,455 会報9,000
基金入金	300,000	748,300	▲448,300	266件	会議費	80,000	97,875	17,875	役員会・理事会・当番幹事会・会報編集会議
剣祭収益金	60,000	0	▲60,000	台風の為参加取りやめ	印刷費	200,000	139,360	▲60,640	会報・総会案内状・会議用資料
雑収入	0	145,680	▲145,680	総会余剰金	通信費	400,000	359,280	▲40,720	総会案内発送 80×4,120=329,600・ほか
					慶弔費	50,000	0	▲50,000	
					事務雑費	20,000	16,038	▲3,962	
					予備費	50,000	0	▲50,000	
小計	380,000	1,157,902	▲777,902		小計	1,000,000	724,804	▲275,196	
前年度より繰越	12,302,358	12,004,428	▲297,930	大和証券売却損益有	次年度へ繰越	11,682,358	12,437,526	755,168	定期郵貯・通常郵貯・静銀定期・現金
総計	12,682,358	13,162,330	479,972		総計	12,682,358	13,162,330	479,972	

上記の通りご報告致します。平成23年3月31日
会長/大石邦枝 会計/近藤和恵・瀧浪恵子
監査の結果、相違なく適正と認めます。平成23年4月23日
会計監査/長田直子・堀池美和

第20回 草薙の丘の集い

平成23年5月22日(日)『メルパルクKYOTO』において、田中修先生をお招きし、『この頃している仕事』という演題でお話し頂きました。
先生が、翻訳された『スコット南極体験日誌』や、『世界最悪の旅』(チェリー・ギヤード著)をもとに、当時の探検の厳しさや面白さを紹介して頂きました。貴重な資料や写真も見せて頂き、大変興味深い集いとなりました。

計報

平成二十四年一月十日
元静岡女子大学 被服学科教授
河村房代 先生 九十才
平成二十四年三月二日
元静岡女子大学 一般教養教授
藤田純男 先生 九十三才
御冥福を心からお祈り申し上げます。



平成23年度 予算(案)

総収入 12,602,526円 総支出 12,602,526円 残高 0円

自平成23年4月1日
至平成24年3月31日

収入の部				支出の部					
費目	22年度予算	23年度予算	増減	備考	費目	22年度予算	23年度予算	増減	備考
受け取り利息	20,000	5,000	▲15,000		事業費(一般)	200,000	200,000	0	総会・剣祭・会報
基金入金	300,000	100,000	▲200,000		事業費(特別)	0	300,000	300,000	はばたき基金 30,000円×10年分(24年度より)
剣祭収益金	60,000	60,000	0		会議費	80,000	100,000	20,000	役員会・理事会・当番幹事会・会報編集会議
					印刷費	200,000	200,000	0	会報・総会案内状・会議用資料・宛名シール
					通信費	400,000	400,000	0	会報・総会案内状の送付、会議の通知
					慶弔費	50,000	50,000	0	
					事務雑費	20,000	20,000	0	
小計	380,000	165,000	▲215,000		予備費	50,000	30,000	▲20,000	
前年度より繰越	12,302,358	12,437,526	135,168		小計	1,000,000	1,300,000	300,000	
総計	12,682,358	12,602,526	▲79,832		郵貯・静銀等	11,682,358	11,302,526	▲379,832	
					総計	12,682,358	12,602,526	▲79,832	

*他費目への流用を認める

編集委員 青木則子・石田加苗・大石邦枝
佐藤容子・高橋節子・森 恵美